

まちづくり協議会だより

12月号

平成30年11月30日現在

【世帯数】 240戸

【人口】 男：340名

女：356名

合計：696名

発行日：平成30年12月12日

発行：宮川まちづくり協議会

【特集】

耀く☆

宮川地区

イルミネーション



嫌がられても取材しました！



みなさん、協議会だより9月号で取材をした宮川花火衆“彩花”を覚えていますか？宮川公民館前のイルミネーションを作ってくれていたのは、なんと！彼らでした。

# “彩花(さいか)”再び現る！

宮川のタイガー  
マスクでありたい。



頭の中の構想を仲間に伝えて組み上げ、形にしていきます。

11月11日の土曜日、いつものように事務所で仕事をしていると、いつもは静かな公民館前の空き地にどこからともなく軽トラと複数人の男性が集まってきました。そして鉄管を器用に組み立て始めました。やっと私は、「イルミネーションを作っているんだ！」と気づき、慌てて現場へ！彼らの顔を見ると、宮川に見事な花火を打ち上げてくれる花火衆、「彩花」のメンバーではありませんか。彼らがイルミネーションまで作ってくれていたとは…。

中心になって指揮を執っているのは、帽子を深くかぶったKさん。顔写真をお願いするも、「自分は目立ちたくてやっているわけではないから勘弁して。」と、正面を向いてくれません。何とか隠し撮りをしようとしたのですが、気づかれて無理でした（写真下）。けれど、スマホに保存してある過去のイルミネーション作品の写真を見せて説明してくれるその姿からは、自分の考えた作品に対する誇りがすごく伝わってきましたよ。毎年、みんなのためにこうやって休日を使って作ってくれる方たちの存在を、みなさんも知ってください。



古墳の横穴式石室への羨道のような通路をもつ四角錐ドーム。

## Kさんに聞く、イルミネーションへの思い

去年は、せっかく作ったドームが豪雪のせいで潰れ、パイプが駄目になってしまったので、今年は夏にどろんこバレーで使った鉄管を再利用しています。イルミネーションの電球は1～2年で駄目になってしまうので、毎年新しいものを購入してもらっています。イルミネーションは予算があればあったけその豪華さも増しますが、僕たちは今ある予算内でできるだけ良いものを作ろうと頑張っています。この道を通った人が、「あ、今年もイルミネーションが付いているな。」と思ってくれたら、それで満足です。



2015~2018

歴代イルミネーション☆

2018



2017



Merry Christmas



2016



覚えていますか？



2015



11月25日(日)  
男女共同参画  
そばうち体験

最初に市民協働課の河島グループリーダーから男女共同参画についてのお話を聞いたあと、太良庄の蕎麦打ち名人、高鳥重郷さん（小浜市認定・食の達人）に教えてもらい、蕎麦をうちました。生地をこねるのも伸ばすのもなかなか難しく、皆さん必死に頑張っていました。みなさん最後はおろし蕎麦にしてペロリ！とっても美味しかったそうです。参加された男性陣の皆さま、年末にはぜひ奥さんに蕎麦をうってあげてくださいね。



挽きたて  
うちたて  
湯がきたて



12月9日(日)  
おかねの  
いらない  
お店屋さん  
オープン

宮川地区が子育て世代の親と子どもにとって暮らしやすい場所になれば…。そして、新しいものばかりを求めるではなく、ものを大切に作る心や「ありがとう」の気持ちを大切にしたい。そんな思いから、宮川公民館に1日だけ新しいお店が生まれました。その名も、「**おかねのいらないお店屋さん**」。お店においてあるものは、全て誰かのいらなくなったもの。お支払いは「0円+ありがとうのキモチ」で。お客さんは、いつ来てもいつ帰っても、よし。この日は、同時に宮川の子どもたちによる「**小学生カフェ**」もオープン（こっちは有料）。思ったよりたくさんのお客さんが来てくれて、子どもたちは休む間もなく一生懸命お好み焼きを焼いたり、飲み物を出したりしました。子どもたちの働きっぷりには、本当に感心しました。



どれでも  
お好きなものを  
どうぞ



同時OPEN  
小学生  
カフェ





# ほかにも、宮川地区でこんなことがありました

11月23日(金)  
小浜市駅伝大会



宮川地区は 4 位でゴール！大健闘です！選手の皆さん、お疲れさまでした。

〈1区〉畠中 惟登さん 〈2区〉垣本 羽香さん  
〈3区〉**区間賞** 東 晃成さん  
〈4区〉増田 生さん 〈5区〉垣本 名保さん  
〈6区〉松尾 嘉久さん 〈7区〉清水 治康さん  
〈8区〉増田 和俊さん

11月26日(月)  
加茂区ふれあいサロン



今回、若狭湾少年自然の家へバスに乗って遠出を計画！20 数名の方々が参加され、簡単なゲームをしてから万華鏡づくりをしたそうです。みなさんいつもと違う内容に大満足。イエイ♪



12月5日(水)

まち協理事会・閉校実行委員会



まち協理事会では、現在進行中の「まほろばの里 若狭みやがわ創生事業」の進捗状況が報告されました。閉校実行委員会では、閉校式典とお別れ会のスケジュールや、記念碑や記念誌の予算のことなど、かなり詰めめの段階に入った話がなされました。

12月8日(土)

小浜市文化財防火訓練



昨年雪のために中止になった加茂神社での文化財防火訓練が行われました。



社務所で会議をしているときに火事が発生したという設定で、まず住民たちによる消火器による初期消火や文化財の搬出訓練をしました。



その後、若狭消防署と消防団第10分団が協力して、消火活動が行われました。



またまた宮川に  
コウノトリ目撃情報相次ぐ！



11月11日(本保・大谷)



12月4日(本保・大谷)



# この本おススメ④

## 『みらいのだるまちゃんへ』

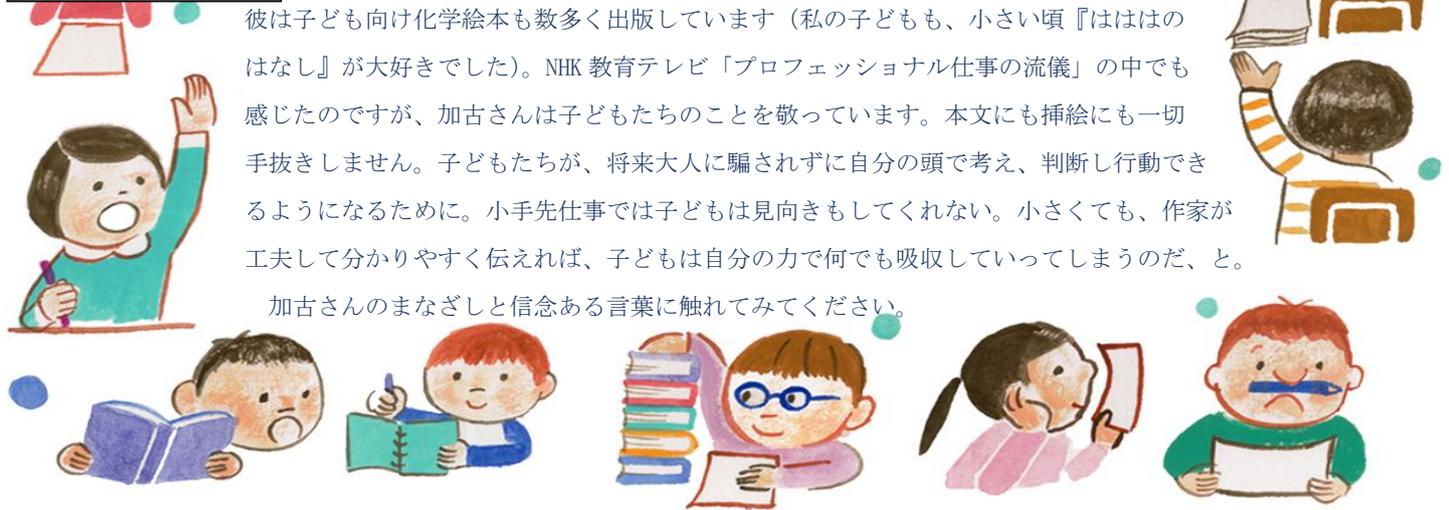
文 かこさとし／文春文庫、2016

### 「大切なことは、すべて子どもたちに教わった」

そういう、加古里子さんの考え方が私は大好きです。残念なことに、福井県武生（現・越前市）生まれのこの偉大な絵本作家は、今年お亡くなりになってしまいました。加古さんといえば「だるまちゃん」や「からすのパン屋さん」シリーズで有名ですが、

彼は子ども向け化学絵本も数多く出版しています（私の子どもも、小さい頃『ははのはなし』が大好きでした）。NHK 教育テレビ「プロフェッショナル仕事の流儀」の中でも感じたのですが、加古さんは子どもたちのことを敬っています。本文にも挿絵にも一切手抜きしません。子どもたちが、将来大人に騙されずに自分の頭で考え、判断し行動できるようになるために。小手先仕事では子どもは見向きもしてくれない。小さくても、作家が工夫して分かりやすく伝えれば、子どもは自分の力で何でも吸収していつてしまうのだ、と。

加古さんのまなざしと信念ある言葉に触れてみてください。



## ＊ お知らせ ＊

### 1 月の行事予定

08（火）すくすく広場（宮川保育園）  
始業式（宮川小学校）

10・24（木）小浜病院巡回診療日（14：00～、宮川公民館）

15（火）100歳体操（すこやかクラブ）（10：30～）

**1月の休館日**

1～3（年始休み）、7（月）、14（月・祝日）  
15（火・振替休館日）、20（第3日曜）、  
21（月）、28（月）

**宮川地区 新成人の集い**

1月12日 10:00～

場所: 宮川公民館

宮川小学校卒の新成人は5名です

**宮川地区 年賀会**

1月12日 18:00～

場所: 宮川公民館

こどもお世話になりました

役員さんをはじめ、地区の皆様には今年も何かとご協力頂きまして、心から感謝申し上げます。来年も、住みやすい宮川地区になるよう、微力を尽くします。それでは皆様、

良いお年をお迎えください。

公民館長 桑田貞義

### 編集後記

人間って、自己承認欲が強く、つい外からの評価を求めてしまいがちですが、「目立ちたくない。自分はただすべきことをする。」という K さんのスタンスに、日本人らしいなあと思入りました。そんな彼らへ何か恩返ししたい…。というわけで、**今月号は特別にカラー版です！**表紙のイルミネーションの美しさが伝わるのではないのでしょうか。

「おかねのいらぬお店屋さん」の狙いでもあるのですが、「みんなが集まり、出会い、つながる場」から、「自分のまちで、もうちょっと楽しく暮らせるかもしれない」と思える人が増えていくといいなと思います。「もうちょっと」、でいいのです。